

発明工夫展 ひらめき・アイデアを形に

9月25日・26日の2日間、第10回田村市発明工夫展が船引公民館で開かれ、市内の小学生から出品のあった19点の作品が展示されました。

市から推薦される県出品作品は、11月13日(土)から14日(日)に郡山市労働会館で開かれる、第67回福島県発明展へ出品されます。

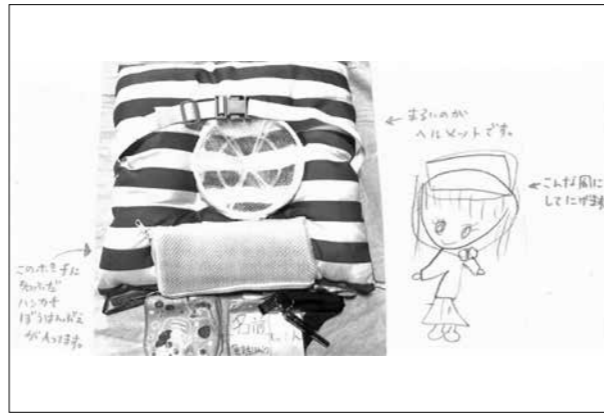
各部門の最優秀賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 小学生低学年の部 酒井 日茉莉 (滝根小)
- 小学生高学年の部 藤田 夏心 (常葉小)

酒井 日茉莉さんの作品 (写真:上)

「いのちをまもるちゃん」

【工夫点】今年度は雨や地震などの災害が多かったので、防災のアニメを見て、こんなグッズがあったらいいなと思い、作りました。学校で災害が起きたときに使えるように、クッションにいろいろな仕掛けを作りました。



藤田 夏心さんの作品 (写真:下)

「とう明エプロン」

【工夫点】今年で101歳を迎える曾祖母が食事の際にこぼしてしまうことがあるのですが、エプロンを着けることを嫌って着けません。そのため、着けていることが分かりにくいような透明なエプロンを作って、服を汚さないように考えました。

小学校陸上 5年女子 100mで全国大会4位入賞! 船引小 渡部 楓来さん

9月19日に横浜市日産スタジアムで開かれた日清食品カップ第37回全国小学生陸上競技交流大会女子5年100mで、船引小学校5年渡部楓来さんが4位入賞を果たしました。同28日、渡部さんは安生昌弘校長、顧問の先崎里美教諭、父親の良治さんと共に市役所を訪れ、大会での成果を報告しました。

渡部さんは、「緊張したが、目標にしていた自己ベストを出し、決勝進出することができてよかった。次は、13秒台を出せるように頑張りたい」と大会の感想と今後の抱負を述べました。



▲左から市長、安生校長、楓来さん、良治さん、先崎教諭、教育長

見学学習 滝根小の児童が「福うなぎ」の養殖場を見学

滝根小学校の児童が、地元で福うなぎを育てるニューフロンティア株式会社の養殖場見学を行いました。

総合学習のテーマ「地域の名人に学ぼう」の学習の一環で、児童たちは、社員の方から福うなぎの説明を聞いたり、実際に福うなぎへエサをあげたりするなど、体験を通して滝根地域のうなぎ産業について真剣に学びました。陸上でのうなぎ養殖は国内でもめずらしく、多くの来訪者があることから地域活性化にもつながっています。

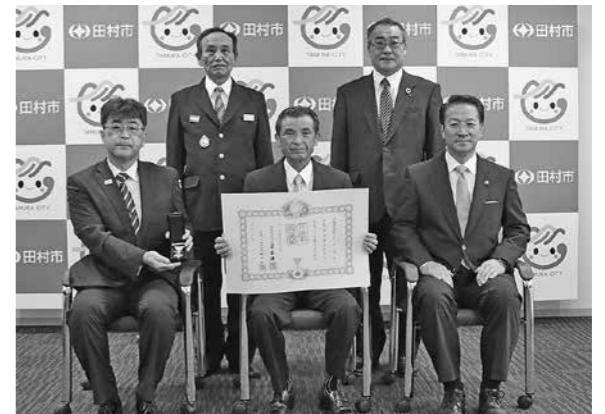


叙勲 元田村市消防団副団長の吉田忠房さんが受章

常葉の吉田忠房さんが消防関係叙勲の「瑞宝単光章」を受章されました。

伝達式は8月11日に市役所で行われ、県中地方振興局の中島局長から勲記と勲章が手渡され、市長が立ち会いました。

吉田さんは、昭和52年4月に常葉町消防団員を拝命し、平成17年3月から25年3月まで、初代田村市消防団副団長として郷土愛護の精神に基づき、地域の安全安心のため尽力されました。



農業講座 フレッシュ農業講座で小野高生が農業を学ぶ

9月15日、県中農林事務所田村農業普及所が主催するフレッシュ農業講座が県立小野高等学校で開かれました。講師は市内在住で農産物の6次化に熱心に取り組んでいる稲福由梨さんが務めました。

講座では、生産・加工・販売の講義や、ブルーベリーを用いたジャム加工の実習を行いました。生徒たちは交流や意見交換を通じて農業に対する関心を高めていました。



農業振興 市内2カ所で農業市施設が落成

●地見城ライスセンター (写真:上)

9月28日、原発事故で当時避難指示地域となっていた都路町地見城地区にライスセンターが完成し、落成式が行われました。この施設は、乾燥調製機、穀粒選別機、色彩選別機、粉摺り機等が一連のラインを形成しており、最大10トン/日の処理能力を有します。

被災地域の農業復興を支援するための国の交付金を利用して建設され、地元の農業法人都路イーストが管理を行います。



●サツマイモ貯蔵施設 (写真:下)

同日、市内全域でサツマイモの栽培が盛んになってきたことから船引町門沢地区に建設が進められていたサツマイモ貯蔵(キュアリング)施設が完成し、落成式が行われました。この施設は、サツマイモに適した温湿度で貯蔵することにより、品質を維持しつつ長期出荷を可能にします。

福島県の再生加速化を後押しする国の交付金が活用され、福島さくら農業協同組合が管理を行います。

